

第1 史林麗さんとの出会い（中国語の勉強）

（『がんばったで！45年』469頁掲載）

7. 坂和章平とすばらしき人たち～交遊録（22） 史林麗さん、古婷婷さん （事務所だより第31号 18年盛夏号）

◆『在日本』で働いている範越クンは李淵専社長と同じ安徽省出身で、彼の1年後輩。そんな彼が私の中国語の個人レッスン教師として紹介してくれたのが、律師（弁護士）として深圳の法律事務所働き、2016年4月に来日した史林麗さん。2017年4月21日の初顔合わせ後、事務所毎月1、2回の勉強も続けているが、中国の人権・都市問題から中国共産党の権力闘争、軍事力の拡張、米中対決等々の話題提供はもっぱら私から。他方、中国映画や芸能ネタはもっぱら私が聞き役だ。

◆彼女の現在の本業は不動産業で、クッキーこと古婷婷さんと共に合家（あいか）株式会社の代表者。勉強会の後はいつも居酒屋で飲食しながらの情報交換会だが、少し先輩のカンさんと東京在住のジャックこと孟祥申氏も時々参加。三国志を始め中国の歴史にメチャ詳しいカンさんとは、互いに中国語と日本語を翻訳し合いながらかなり突っ込んだ議論を。また、孟氏は都島自宅1Fの改装披露パーティー後、3連泊して大阪での業務をこなす中に。

◆彼女らの行動は早くて大胆、そして知的だ。今年2月にはMF南森町2ビル7Fに立派な事務所を開設したかと思うと、4月には京都で1棟のビルを購入して全9室のホテルを開業。同時期にすぐ近くのビルで事務所を開設した村井貴宏税理士との接点もできそうだ。

◆私の古くからの友人で大きな不動産を扱っている加納靖夫氏を含めて、居酒屋では成都での老人ホーム建設の話題で盛り上がった。日本では各種規制が厳しく複雑だが、この手の事業が稼げる領域であることは明らか。中国でどんな展開が可能なのかを含めて要検討だが、そこでは弁護士としての知識の他、中国語の勉強が役立つはずだ。

◆6月19日には彼女らが住む高層マンション（19F）に招待され、婷婷さんのママ（ママ）お手製の四川省の家庭料理（家常飯）を楽しみながら4時間あまり楽しいおしゃべりを。本来の辛さを日本人向けに抑えてもらった各品は絶品だった。彼女らの故郷である成都の現地視察等、勉強と遊びさらには実益を兼ねた楽しい人的交流を今後も深めかつ広げたい。今後の展開を、乞うご期待！



新設した北区の
会社を訪問（6/19）



二人の自宅で
四川の家常飯を（6/19）